# こんなに起きている…

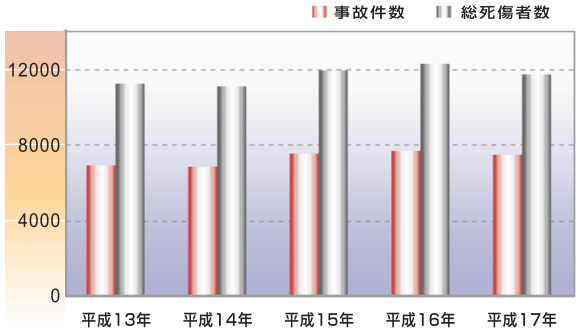
## 平成16年、全国で7,664件の踏み間違い事故
## なんと、毎日約21件の悲惨な出来事

下のグラフをご覧ください。過去5年間のペダル踏み間違い事故統計では、平成16年が最も多く7,664件もの悲惨な事故が発生しています。更にその事故の総死傷者が12,100人を越えているのが実態です。
この数は踏み間違い事故が当事者以外に第三者を巻き込む惨事であることを物語っています。

また年齢別では社会問題化している高齢な男性ドライバーの事故率が高いものの、免許取得者の約4割を占める女性ドライバーが引き起こす踏み間違い事故率の高さも見逃せない現象です。また若い男女の事故数も想像以上で、これは正に初心者ドライバーの踏み間違い事故の多さを報じています。

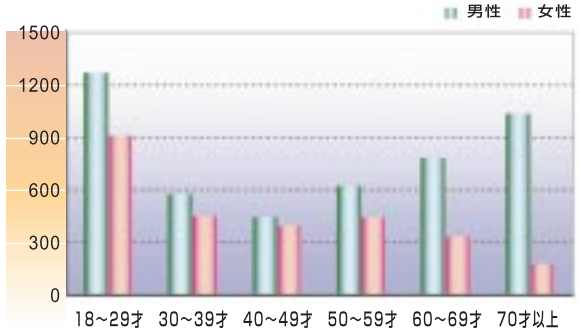
**全国ペダル踏み間違い事故数と総死傷者数**

（資料：交通事故総合分析センター）



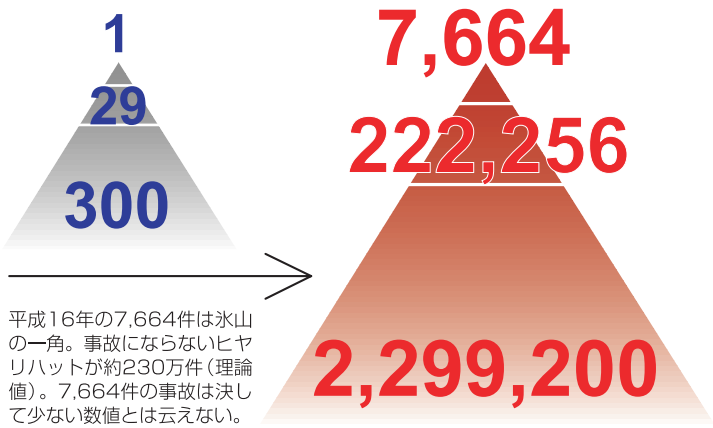

**平成17年 男女別・年齢別ペダル踏み間違い事故数**

（資料：交通事故総合分析センター）




## 誰もが経験しているヒヤリハット

アメリカ人技師のハインリッヒ氏が発表した「1：29：300」という法則があります。この理論は労働災害の事例の統計を分析した結果あみ出されたものです。
現在では、「1つの重大事故が発生する背景に、29件の軽傷事故と300件のヒヤリハットがある」という警告として安全運転啓蒙運動などの中で多く採り上げられています。
この理論から推定すると、平成16年に起きたブレーキとアクセルの踏み間違い事故7,664件の背景には、事故にならなかったヒヤリハットが約230万件もあったと云えます。




平成16年の7,664件は氷山の一角。事故にならないヒヤリハットが約230万件（理論値）。7,664件の事故は決して少ない数値とは云えない。

---

### SDASのお求めは、下記の事項を十分理解いただいた上でご注文ください。

**●5年間又は10万キロの長期保証**

・本装置の保証は保証書に示されている期間内で、取扱説明書に従って正しく使用されたにもかかわらず、本装置本体に材料上又は製造上の不具合で故障が生じた場合に無償修理をお約束します。保証修理は調整・修理、あるいは新型モデルとの交換により行います。（但し、日本国内に限ります）
・保証期間内であっても、次の事項が守られていない場合は保証が適用されません。
※自動車販売店及び専門業者による取り付け。
※取扱説明書に従った正しい使用。
※年1回、12カ月毎の有料点検取得（1,000円/回）。
※ワンオーナー使用の限定。

☆下記の場合は、保証期間内でも有償修理となります。
※落下、衝突、事故、異常電圧による故障。また火災、地震、風水害、落雷、公害及び他の天災地変による故障や損傷。
※本装置が接続されている他の機器が原因で生じた故障。
※お客様が構造、機能を改造又は調整、変更した場合。
※お客様自身による分解、付け替え、又は自動車以外に使用した場合。

**●免責事項**

本装置を取り付けた車を、安全かつ快適にご使用いただくためには、本装置に不具合がないか定期的にチェックし、必要な調整を行うことが重要です。
・弊社が指定している年1回、12カ月毎の点検整備を適切に取得されることはお客様の義務であり、結果として、万一の場合の本装置の作動を確実なものにします。これらの点検整備にかかる費用は、お客様のご負担となりますのでご承知おきください。

従いまして、次に示す保証修理以外の費用を負担することはありません。
・本装置に不具合が生じ、保証修理で取付販売店及び専門業者に入庫した期間の不便さを補うための費用は免責とさせていただきます。
・車を使用できなくなったことによる損失（レッカー・牽引代、レンタカー、タクシー、電車・バス代などの交通費並びに電話代、宿泊代、休業補償、積載補償、商業的損失、企業損失など）。
・本装置を装着した後、ペダルの踏み間違いで起こした事故。
（本装置はペダルの踏み間違い事故を軽減する安全運転補助装置です）
・お客様、又は第三者が本装置及び付属品を誤使用したことにより受けた損害。